



# 4/14 修繕ワークショップ

今年度は土蔵の修繕を進めていきます。修繕に先駆けて土蔵の片付けと建物調査を行っていきます。  
※ワークショップの内容は、変更する可能性もございます。詳細はFacebook・Instagram等でも発信しておりますので、ご確認ください。お手伝いよろしくお願いいたします(人^人)

《9:30~16:00》

\*お昼ご飯を600円でご用意しています。  
\*ボランティア保険に加入しています。

\*汚れてもよい服装でお越しください。  
\*申し込み:050-5899-0258(北山)

# 4/13 パンケーキCAFEと和裁士さん 純粋アロマのプチマルシェ

登録有形文化財となる赤れんが商家で、ゆっくりパンケーキやハンドアロマ、和裁を楽しみながら過ごしませんか。入り口には赤れんが商家のかつての当主であり、初代村長でもある小松与右衛門の来歴を知ることのできる展示も用意しています。ぜひ赤れんが商家でゆっくりとした時間をお過ごしください!



赤れんが商家オリジナルてぬぐいを使った東袋(あずまぶくろ)もお作りいただけます。(手拭代:2000円)



パンケーキと  
コーヒーセット  
800円  
(活動寄付金として  
いただいております。)

3月のパンケーキはスキレットを使って焼いたパンケーキでした!写真はホイップバターとはちみつトッピングです!

**純粋アロマの  
プチマルシェ** 4/13(土) 12時~16時

Step1: つめ保湿ケア  
つめの保湿に最高に相性の合うアロマオイルでケアします

Step2: ハンドトリートメント  
L22配合クリームと肌柔かにオスメアロマでフタをするようにケアします

Step3: 精油ハンドクリームづくり  
30g お好きな香り3滴  
加えてL22配合クリームと混ぜるだけ簡単!

3ステップで約30分  
参加費 1000円(税込)

3つのステップで充実のハンドトリートメント体験を同時開催いたします!

同日開催

## 《11:00~12:00》介護福祉士アロマセラピストが伝えるアロマと介護

変わりゆく毎日を穏やかに過ごせるアロマと介護の方法についてお伝えするミニ講座。介護に携わる方であればどなたでも参加OK! 介護に疲れた、心が乱れてしまう、誰にも言えない悩みがある、もっと優しい介護をしたい。一つでも当てはまる方にぜひお伝えしたい講座です。

参加費: 無料  
参加定員: 10名  
講師: 井上愛恵  
(介護福祉士・アロマセラピスト)  
申し込み: 050-5899-0258(北山)



**【Vol.1 2015.6】**  
高専生・建築士有志を中心に「絵金のまち・赤岡町家再生活用プロジェクト」を立ち上げ！地域の方々への周知を目的にかわらばん発行開始。初めての赤煉瓦土間のお掃除ワークショップや劣化状況調査を報告。

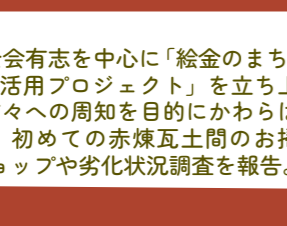
**【Vol.38 2019.2】**  
パンケーキ男子の会に和裁士の六久保さんが加入し「パンケーキカフェと和裁士」さんに！和裁で赤れんが商家を訪れてくださる方がぐっとふえたのは嬉しいことでした。

**【Vol.35 2018.11】**  
トンテンカンシリーズ第二弾、南西側の庭作りを行いました！高専生が赤岡の「あ」をモチーフにデザインした庭は今でも素敵スペースです。

**【Vol.32 2018.8】**  
トンテンカンシリーズ第一弾、赤煉瓦塀に併設された表門の修繕を行いました。「まちのあれこれ」のコーナーでは、吉川染め物店さんと近森パンさんなど赤岡の企業や工房を毎月訪ねて紹介しました。

**【Vol.30 2018.6】**  
「パンケーキカフェと和裁士さん」の原型、「パンケーキ男子の会」が開始！美味しいパンケーキが赤れんが商家で食べれるようになったのはこの頃からでした！！

**【Vol.28 2018.4】**  
高知県立美術館の主催により、ピアニストの向井山朋子さんの企画によるパフォーマンス「HOME」を上演。これ以降、ダンサー湯浅麻さんや朋子さん・演出の遠藤さんとの繋がりが生まれました！



**【Vol.3 2015.8】**  
絵金祭りに初参加！寄付くださった方にかき氷をご提供。これがきっかけとなり、演劇を通して応援したい！と欲しかった浜田あゆみさんとのお繋がり生まれ、赤れんが商家でアートイベントが開催されるように！

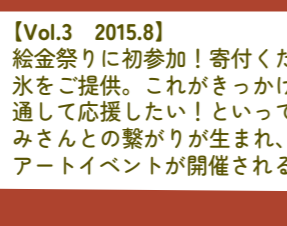
**【Vol.42 2019.6】**  
江戸期建造の町家の資料整理をさせていただくワークショップを開催。赤れんが商家以外の町家にアプローチすることができた貴重な機会でした。

**【Vol.73 2022.1】**  
NPO 法人化をきっかけに、大屋根の葺き替えを行うためのクラウドファンディングを開始！クラファンサイトのページづくりには約1年の期間を要しましたが、新たな学びを得る機会となり、200名以上の方々にご支援いただきました！！

**【Vol.70 2021.10】**  
これまで任意団体として活動してきましたが、高知県へ申請し、NPO 法人として新たな一歩を踏み出しました。NPO 同士の繋がりが生まれ、団体としての成長を感じることができました。

**【Vol.68 2021.8】**  
「お手入れ赤れんが」シリーズ、赤れんが塀の内側・西側の庭に「まさ土」を敷き、庭の手入れがしやすいようにしました。

**【Vol.63 2021.3】**  
既存の家具を使いやすくリメイクする「お手入れ赤れんが」を開催！押入れにキャスターとカウンターをつけ、移動式のコーヒーカウンターとして再生！春休みに帰省していた大学生が参加してくれて大活躍～！



**【Vol.43 2019.7】**  
てんがいさん率いる「宵晴レ座」による二人舞台「絵金縦遊伝」の制作ドキュメンタリー映画を赤れんが商家にて上映。絵金祭りと同時開催し、多くの方にご覧いただきました！

**【Vol.74 2022.3】**  
クラウドファンディングでいただいたご寄付を原資に大屋根修繕を開始！初日は20名以上の方にご参加いただき、座敷部分の瓦と土を下ろし終えることができ、順調なスタートを切ることができました。

**【Vol.92 2023.8】**  
コロナ禍を経て久しぶりに通常通りの絵金祭りが開催されました。私たちが活動を開始して以降、初めて赤れんが商家に芝居絵屏風を飾ることができました。赤岡を拠点に移動販売を行うタナカフェさんにも出店いただきました！

**【Vol.90 2023.6】**  
これまで裏の畑の一角に仮倉庫を設けていたが、恒常的に保管する場所を設けるため、単管を用いて、資材を保管するための倉庫を製作しました。

**【Vol.66 2021.6】**  
「お手入れ赤れんが」シリーズ。それまでベニヤ板で塞がれていたアーチの扉復活やコンポスターの製作を行いました。

**【Vol.99 2024.3】**  
新たなご縁が生まれ、安心安全にこだわったソーセージづくりやリップスティック作りワークショップが実現しました！



**【Vol.6 2015.11】**  
延藤安弘先生による幻燈会を開催。これからの進め方10箇条を提案してください、お得意の頭文字をつないで「赤れんが商家再生」のキーワードが浮かび上がりました。初めての演劇を行ったのもこの月でした！

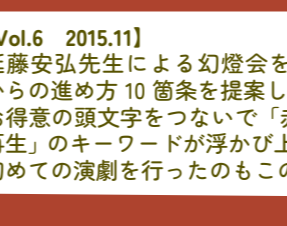
**【Vol.46 2019.10】**  
かまどのある台所を修繕する「釜屋復活大作戦！」を決定。みんなで考え、より使いやすくなるように一部増築し、基礎・壁・屋根と伝統木造建築の基本要素を学ぶことができました。

**【Vol.75 2022.4】**  
赤れんが商家にグランドピアノを設置し、向井山朋子さんのピアノコンサートを行いました！屋根修繕では、春休みに延べ200名のボランティアの方々にお手伝いいただきました。

**【Vol.98 2024.2】**  
毎月第二土曜日に開催している「パンケーキカフェと和裁士さん」。地域内外の方々が集まるほっこり暖かな場所となっています（^^）

**【Vol.89 2023.5】**  
ようやく足場を外すことができ、葺き替えられた屋根瓦がお目見え！これに合わせて7年半ぶりに赤岡産業観光ツアーも開催、3回通してご参加くださっている方もおり、久しぶりの再会ができました！

**【Vol.100 2024.4】**  
「あかおかわらばん！」の発行100号を達成！これと同時に国の登録有形文化財への登録も実現。赤岡町では初の登録文化財が誕生しました～！！



**【Vol.47 2019.10】**  
建築士全国大会にて地域実践活動としてプロジェクトの活動を報告し、最優秀賞を受賞！日本一をとることができました！これをきっかけに全国の方々にこの活動を知っていただくことができました。

**【Vol.76 2022.5】**  
自衛隊の方々にご協力いただき、内部の壁の撤去作業を行いました！東の土間と西のミセ空間が繋がりを、ダイナミックな空間が生まれました。

**【Vol.94 2023.10】**  
土蔵の床が傾いていたことから調査を開始！また、裏庭に簡易トイレを新たに設置。トイレの囲いをつくることで以前より快適に使っていただけるようになりました。

**【Vol.93 2023.9】**  
いの町を拠点に活動する Washi+ による和紙をテーマにした演劇・パフォーマンス「Kaji / 楮・人造自然」を上演。今も奉納歌舞伎が継承されている、いの町・八代の歌舞伎舞台でも上演されました。

**【Vol.63 2021.3】**  
既存の家具を使いやすくリメイクする「お手入れ赤れんが」を開催！押入れにキャスターとカウンターをつけ、移動式のコーヒーカウンターとして再生！春休みに帰省していた大学生が参加してくれて大活躍～！

**【Vol.27 2018.3】**  
高専生による卒業研究発表会を開催。2年生の頃からプロジェクトを手伝ってくれ、赤れんが商家の耐震性能について研究しました。



**【Vol.7 2015.12】**  
赤岡の地場産業をめぐるまち歩きツアー「産業観光ツアー」を開催！赤岡青果市場や横矢こんにやく、岡田のおんちゃんなどを訪ねました。最後は赤れんが商家の活動紹介を行い、記念写真をパシャリ！

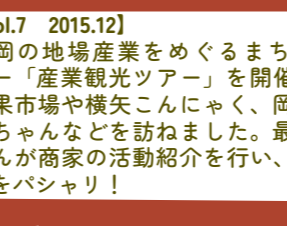
**【Vol.50 2020.2】**  
釜屋復活大作戦。傷んだ梁を取り替えるため、柱から取り外したところ、柱のほぞに「明治13年大造作葺き替え」という記録を発見。建築年代の大きなヒントが現れました。

**【Vol.84 2022.12】**  
屋根の下地となる母屋が傷んでいたため、大工さんと一緒にまち P メンバーも力を合わせて木工事を行い、ようやく瓦葺きに着手することができました！

**【Vol.86 2023.2】**  
本町の真真中に位置する「やすや」を高専生が改修、期間限定の無人ギャラリがオープン！冬の夏祭りや平日にも開催し、地域内外の方々にやすやの歴史を知っていただくことができました。

**【Vol.60 2020.12】**  
「換学」ワークショップの最終回！上田さんのお仕事についてのレクチャーを合わせて開催。上張りの手順を教えてくださいました。

**【Vol.25 2018.1】**  
冬の夏祭りに合わせて、赤れんが商家の歴史をもとにした朗読劇「あかあかさんぼ」を企画。赤岡中学校との協働企画「古民家おそうじボランティア」が始まったのもこの時からでした！



**【Vol.49 2019.11】**  
建築士全国大会にて地域実践活動としてプロジェクトの活動を報告し、最優秀賞を受賞！日本一をとることができました！これをきっかけに全国の方々にこの活動を知っていただくことができました。

**【Vol.77 2022.5】**  
自衛隊の方々にご協力いただき、内部の壁の撤去作業を行いました！東の土間と西のミセ空間が繋がりを、ダイナミックな空間が生まれました。

**【Vol.95 2023.11】**  
絵金蔵企画の「赤岡体験博」が開催！パンケーキ作り体験は大人気でキャンセル待ちが出るほどでした。高知大学えんむすび隊との協働企画まちなか探偵団も好評でした！

**【Vol.97 2024.1】**  
11/23に向井山朋子さんによるピアノコンサート「LoveSong2023」を開催。赤岡中学校による古民家お掃除ワークショップも6年目に突入！

**【Vol.88 2023.4】**  
社会福祉協議会さん主催により、赤れんが商家にこども食堂が開店！100名近くの子どもたちが赤れんが商家での昼食の時間を楽しんでくれました。

**【Vol.22 2017.10】**  
赤煉瓦でできたかまどを再生するワークショップを行いました！かまどができたら早速かまどでご飯を炊いてみるイベントを開催。参加費がお米1合というのは今見てもナイスアイデアでした！



**【Vol.53 2020.5】**  
コロナ禍に突入したため、参加者を募集せず、メンバーのみで集まり、釜屋修繕を進めました。その代わりに「かまよこぼれ話」として記事を通して、伝統構法の仕組みや良さを伝えることにしました。

**【Vol.80 2022.8】**  
改修・活用事例の参考に岸本地区の「かっぱや」さんの見学へ。また、夜須の古民家やお寺へ瓦をいただきに伺いました。瓦のご寄付をきっかけに新たなご縁をいただくことができました！

**【Vol.84 2022.12】**  
屋根の下地となる母屋が傷んでいたため、大工さんと一緒にまち P メンバーも力を合わせて木工事を行い、ようやく瓦葺きに着手することができました！

**【Vol.86 2023.2】**  
本町の真真中に位置する「やすや」を高専生が改修、期間限定の無人ギャラリがオープン！冬の夏祭りや平日にも開催し、地域内外の方々にやすやの歴史を知っていただくことができました。

**【Vol.60 2020.12】**  
「換学」ワークショップの最終回！上田さんのお仕事についてのレクチャーを合わせて開催。上張りの手順を教えてくださいました。

**【Vol.22 2017.10】**  
赤煉瓦でできたかまどを再生するワークショップを行いました！かまどができたら早速かまどでご飯を炊いてみるイベントを開催。参加費がお米1合というのは今見てもナイスアイデアでした！



**【Vol.11 2016.5】**  
しっかり情報を伝えたい！ということで、A3 サイズで隔月発行の試みを開始。この時デザインされたロゴタイプは今も使われています。

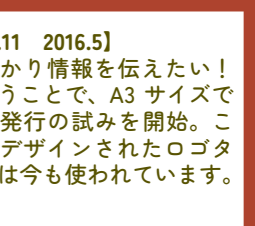
**【Vol.53 2020.5】**  
コロナ禍に突入したため、参加者を募集せず、メンバーのみで集まり、釜屋修繕を進めました。その代わりに「かまよこぼれ話」として記事を通して、伝統構法の仕組みや良さを伝えることにしました。

**【Vol.56 2020.8】**  
釜屋復活大作戦がいよいよ最終回！釜屋内に食器棚などを製作し、使い勝手のよい釜屋が完成しました！

**【Vol.57 2020.9】**  
4回のワークショップで襖を張り替える「襖学-ふすまなび-」を開催。上田薫風堂の上田博章さんに教えていただきました。襖の中に使われている裏張りには、江戸後期のお酒の台帳が用いられており、地域のお宝を発見に繋がりました。

**【Vol.19 2017.7】**  
絵金祭りで荷物預かりを担当。県外からの方や買い物帰りの方が利用されました！シアター TACOGURA さんによる演劇「耳なし芳一」も大好評でした！

**【Vol.22 2017.10】**  
赤煉瓦でできたかまどを再生するワークショップを行いました！かまどができたら早速かまどでご飯を炊いてみるイベントを開催。参加費がお米1合というのは今見てもナイスアイデアでした！



**【Vol.13 2016.9】**  
作家・岡本弥太をテーマにした文学散歩を高知高専と共同で企画。赤岡小学校で教えていた弥太は、赤れんが商家で靴を誂えていたという歴史も語り継がれています。

**【Vol.17 2017.5】**  
赤れんが商家活用ワークショップをきっかけに、さっしーがマスターをつとめる「コーヒー入ります」が開店！焙煎したてのコーヒーが大好評！

**【Vol.18 2017.6】**  
地域の方々を招待して裏庭で BBQ を開催！「こんな街にしたいな！」の意見を出し合ったことから、当時小学4年生だったすずちゃんの声から、「すてきなまち・赤岡プロジェクト」の名称が生まれました。

**【Vol.19 2017.7】**  
絵金祭りで荷物預かりを担当。県外からの方や買い物帰りの方が利用されました！シアター TACOGURA さんによる演劇「耳なし芳一」も大好評でした！

**【Vol.19 2017.7】**  
絵金祭りで荷物預かりを担当。県外からの方や買い物帰りの方が利用されました！シアター TACOGURA さんによる演劇「耳なし芳一」も大好評でした！

**【Vol.22 2017.10】**  
赤煉瓦でできたかまどを再生するワークショップを行いました！かまどができたら早速かまどでご飯を炊いてみるイベントを開催。参加費がお米1合というのは今見てもナイスアイデアでした！

# あかおかわらばん!

## 100号でたどる赤れんが商家再生の軌跡

## 報告

### 「旧小松家住宅」として 国の登録有形文化財へ！

今年度は、約1年をかけて国の登録有形文化財とすることを一つの目標として調査や書類の作成を進めてきました。登録有形文化財は、より多くの歴史的建造物の保存・活用を図ることを目指した制度で、建築後50年以上を経過し、国の文化審議会の審議を経て登録されるものです。

今回、赤れんが商家の主屋・土蔵・煉瓦塀と門・井戸の4つの物件について申請しました。調査を進める中で、初代赤岡村長として町の発展に尽力した小松与右衛門は、明治30年に、仲間と共に、「土佐煉瓦陶器合資会社」を設立し、煉瓦を製造し品質向上の努力をしたことなどが明らかになりました。この煉瓦製造は高知県内でも当初期にあたり、県内の煉瓦建築の系譜において重要なものと言えます。登録を通して、より多くの人に、赤岡の町の価値や魅力を伝えていきたいと考えています！



明治前期建造の土蔵



煉瓦造の排水枡を備えた深井戸

## 報告

### 修繕ワークショップを開催！

3月のワークショップは、有形文化財への登録を受け、小松与右衛門ってどんな人？ということがわかる展示を赤れんが商家内に設けよう！ということで、展示スペースをつくることに。

はじめに小松与右衛門の来歴と、様々な展示の方法をスライドを用いて説明しました。その後、どんなふうに表示するかを、手を動かしながら徐々に考え、かつてのタバコと靴のショーケースを直すことにしました。傷んだ部材を交換し、スペースに合わせて一部を改造。ガラスを綺麗に磨くと、素敵なショーケースに生まれ変わりました！春休みということもあり、多くの方が参加くださり、初参加の方もいれば、卒業・就職で高知を離れるという方も。お昼はかまどご飯とBBQで卒業祝いのミニパーティで楽しみました！



タバコ屋カウンターをスリムに改造 今日みんなありがとう！！

#### 賛助会員・寄付金募集

## まちのシンボルを未来へ繋ぐために、応援をお願いします！

### ① 賛助会員として応援する！

土佐特有の文化である絵金の芝居絵屏風を、町の風景とともに未来につなげ、お祭りや町家等への関わりを通して豊かなコミュニティを形成していくために、特定非営利活動法人すてきなまち・赤岡プロジェクトの活動を資金的に支援してくださる「賛助会員」さんを広く募集しています。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします！

ご入会くださる方は、下記へご連絡いただくか、本プロジェクトHP、もしくは右のQRコードからお申し込みいただけます。

お問い合わせ：akaokaakarenga@gmail.com  
050-5899-0258（北山）



賛助会員年会費（個人・団体ともに）一口 3,000円

### ② こうち未来基金への寄付で応援する！

現在進めている大屋根修繕と耐震補強。2022年の1月から3月にクラウドファンディングを実施し、多くのご支援をいただきましたが、屋根を再び葺くための費用が不足しています。そのため、NPO高知市民会議によって立ち上げられた「こうち未来基金」を通して寄付を募っております！「こうち未来基金」への寄付は、寄附金控除、損金参入することができます。右のQRコードから詳しい情報をご覧ください。



## NPO:すてきなまち・赤岡プロジェクト

本プロジェクトは関係機関と連携して初代赤岡村長の邸宅「赤れんが商家」の再生・活用へ向けた運営に取り組むとともに、香南市の地域資源を活かしたまちづくりに寄与することを目的とした団体です。本活動は、正会員・賛助会員・こうち未来基金を通じたご寄付、公益財団法人新井財団、(公社)高知県建築士会青年委員会の後援により運営されています。

連絡先：akaokaakarenga@gmail.com

Facebook：https://www.facebook.com/akaokamachiya

HP：https://www.akaokaakarenga.org

Address：香南市赤岡町772-1



赤れんが商家へは高知龍馬空港から東に約5km

